

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・山田敬	写真・後藤
山行 NO. 1994		
日 時	2022 年 06 月 04 日 (火) 晴・霧	
山 域	富士山・小富士～まぼろしの滝 (最高到達点=2135m)	
コース	長泉 6:00ーグランド・キャニオン入口 7:10ー五合目・東富士山荘 9:16ーお中道ー最高到達点 10:25ー東富士山荘 (昼食) 11:00~12:10ー小富士 12:28ー小富士・三角点 12:51ーグランド・キャニオン左岸ーグランド・キャニオン底部ー最後の堰堤 (上り返し)ーグランド・キャニオン入口 14:24ー長泉 (反省会)	
標高差	上り・下り グランド・キャニオン入口約 1420m~最高点 2135m=約 715m	
藪漕度	なし	
難易度	非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
カモメラン、谷底から見たグランドキャニオンは絶景		
参加者	後藤、井上、伊藤、山田由、山田敬、斎藤=6名	
ど〜が〜	susono-reihou.babyblue.jp/0000-32.mp4	

今回の山行は、前回の鞍掛山が結構みんながんばったこと、そして初参加の人もいることから初心者でも楽しめる軽めの計画。この時期にしか現れない「まぼろしの滝」を見ることも目的であった。7時10分に予定通りに須走登山口を出発。天気も薄日が差している。富士山中腹の新緑の中をさわやかな空気に包まれて登っていく。



出発



グラキャ

途中、後藤さんがカモメランを発見。小さな白い花だが、ルーペで花びらを見てみると確かに内側に紫色の斑点がある。カモのお腹の目に似た模様のランということらしい。珍しい花に出会えた、これは幸先いい。

グランドキャニオンを右手に見ながら、御室浅間神社を過ぎ、昭和10年(87年前に)に建てられた小富士参道の道標などを見ながら、2時間ほどで富士山五合目の東富士山荘に到着。オーナーの米山さんやお店の方にあたたかく声をかけてもらう。



カモメラン



古の石柱道標



東富士山荘

2000m 近くになると寒い。またこの山荘に戻ってくる予定なので、荷物を置かせてもらって、少し先にあるまぼろしの滝を見に行く。

まぼろしの滝は富士山の山頂の雪解け水が滝のように流れているところ。しかし、雪はだいぶん溶けてしまって6月4日のこの日はまぼろしの滝の位置から少し上流の2135mまで登って探しに行ったが、結局、滝は見えず。

まぼろしの滝は今年まぼろしでした。それでもお中道あたりのこの風景は幻想的。晴れていればもっと良かったが、この辺りはガスが出やすい地帯だということも学べて



富士山カレー（赤い溶岩つき）

よかった。

11時00頃東富士山荘に戻って、暖をとりながら昼食。山荘名物のきのこカレー、きのこラーメン、きのこそば、きのこチャーハン、いろいろなきのこの料理をいただきながら、生ビールも飲んでゆったり昼食。お腹もいっぱいになったので、12時10分ごろ山荘出発。ここから小富士をめざす。

山の会に入ってから晴れ続きだったので、今日も小富士では晴れて富士山頂を見たかったが、今日はかなわず。まるで昔の歌番組でドライアイスのスモークの中のような感じ。みんなで1曲ずつ歌ってもよかったが、風も強いし、記念写真を撮って、早々に次の三角点を目指す。

12時50分ごろ三角点に到着。ここから尾根の砂利道を下る。ちょうど行きに見ていたグランドキャニオンの谷の反対側の尾根をずっと下る予定だったが、地形が変わっていて予想外の展開に、、、

後藤さんが先に進んで、道を確認、尾根に沿って進むのは困難ということで、一気にグランドキャニオンの谷底まで降りることになった。さっきまで尾根から「こんな大きな谷に落ちたら大変だね」と言っていたところに、まさか自ら進んで降りることになるとは。

倒木もあり、慎重に下って、無事全員、谷底に。そこから両岸に山肌を見ながら下る。水はないけど溪谷のライン下りのよう。すごい景色を楽しみながら、ゴール近くへ。





このままずっと谷底を進むわけに行かず、今度は谷底から這い上がらないといけない。砂地の斜面に足が埋もれる中、何とか足を前に進めて、ずるずる下がりながら登る。

ここががんばりどころ。

初参加の妻もここが一番きつかったと感想を漏らしていた。皆で協力しながら全員グランドキャニオンからは出られて、無事 14 時 20 分登山口に到着。最後はハラハラドキドキ、でも終わってみれば貴重な体験で、反省会が盛り上がりました。

その他の記述（後藤）

1. この日、先日入会した、山田敬三さんの奥様、由美子さんが、「本格的山岳デビュー」緊張の中にもリラックスで山を楽しんでいる様子で安心した。
2. カモメランは、最初名前が分からなかった。山田さんのスマホで検索。このアプリは有料という。お金は掛かるが、イイ時代。
3. 東富士山荘の米山さんは元気そうだった。ラジオ出演は年 2 回に減ったという。滝は 2300m 位まで上らないとないとアドバイスされた。しかし、直下まで行くと、下って来た方に、そこまで上っても「チョロチョロ」の報告で残念。
4. 東富士山荘で昼食。持ち込みOKの太っ腹で有難い。「アミダケ」の漬物が美味だった。
5. 小富士から三角点下降で矢印に引かれ、左90度方向に下山してしまった。岩に白ペンキで矢印があったからだ。このコースは、河口湖からの林道に出る。矢印は何処に向うのか表示がなかった。何処に向かっているか無確認で下るのは基本的でない。

6. グラキヤ上部は、前回 2021/09 より崩れていた。このままでは、数年後、小富士まで到達する可能性を感じた。富士山は、西の大沢崩れ、東のグラント・キャニオンで二分される可能性がある。

7. この日、斎藤裕子さんが入会した。



小富士でパチリ



最後の土手上り

